

院内トリアージ実施体制加算について

当院では、来院された患者の重症度、緊急度を判断し、優先順位を付けて、生命の危機的な状態にある患者を早期発見し適切な対応をとる体制がとられています。

緊急度レベル	診察の必要性および目標開始時間	症状の特徴例	再評価の目安
レベル1 蘇生	直ちに 診察・治療が必要	・心停止・重症外傷 (頭部外傷、全身熱傷、気道熱傷) ・痙攣持続 ・高度な意識障害(GCS 3~9) ・重篤な呼吸障害 など	治療の継続
レベル2 緊急	10 分以内に 診察が必要	・心原性胸痛・激しい頭痛 (突然発症、今までで最悪の痛み) ・急性疼痛(NRS 8-10/10) ・中等度の意識障害・自傷行為 など	15 分毎
レベル3 準緊急	30 分以内に 診察が必要	・症状のない高血圧 ・痙攣後の状態(意識は回復) ・変形のある四肢外傷 ・中等度の頭痛(NRS 4-7/10) ・中等度の腹痛(NRS 4-7/10)	30 分毎
レベル4 低緊急	1 時間以内に 診察が必要	・尿路感染症 ・裂傷、刺傷(縫合を必要とする) ・便秘(軽度の腹痛 NRS 1-4/10) ・不穏状態 など	1 時間毎
レベル5 非緊急	2 時間以内に 診察が必要	・軽度のアレルギー症状 ・縫合を要さない外傷 ・処方、検査希望 など	2 時間毎